



軽防協ニュース速報

2024年第1四半期(1月-3月)の伝染病発生状況

2024年4月配信

(International Collating Centre からの情報)

この記事は、2024年第1四半期(1月-3月)の各国の伝染病発生状況の要約したものである。また、ICC 暫定(リアルタイム)のレポートでは報告されていなかった疾病発生状況の追加情報も含まれている。この追加情報は、本レポートの表と本文の該当する箇所に#印を付して示されている。ICC 暫定(リアルタイム)のレポートは、equinesurveillance@gmail.com から受信登録を行うことで e-mail による受信が可能となる。また、<https://equinesurveillance.org/iccview> のページ内にも、同内容のレポートや最新の流行状況が掲載されている。

このレポートに示されているデータには、各国の研究所での検査サンプルや、報告方法に多少のバイアスがあるかもしれないため注意して解釈していただきたい。そのため、これらのデータが必ずしも世界各地における馬の集団内での伝染病発生率を的確に反映しているわけではない。例えば、ある伝染病について発生報告がないからといって、必ずしもその伝染病がその国の中で存在していないということではない。以下の各表は国によって報告された病気の発生件数をまとめたものである。1件の発生で複数頭を含むものがある。

レポートは部位ごとに区分する。

- ・繁殖疾患
- ・呼吸器疾患
- ・消化器疾患
- ・神経疾患
- ・筋骨格疾患

繁殖疾患

発生国	EHV-1	EHV-4	Salmonella Abortusequi	S.zoo
アルゼンチン	#1	-	-	-
ベルギー	-	-	-	1
フランス	10	-	-	1
ドイツ	5	-	-	-
日本	#1	#1	#1	-
オランダ	6	-	-	-
スウェーデン	4	-	-	-
イギリス	2	1	-	-

#四半期後に報告があった追加情報

馬ヘルペスウイルス1型 (EHV-1) による流産

#アルゼンチン

アルゼンチンの1施設においてワクチン接種したサラブレッド牝馬1頭の流産が四半期後に報告された。当該牝馬は妊娠5か月目に流産した。陽性診断はPCR検査およびウイルス分離によって行われた。

フランス

10件の流産が報告されている。8件はカルヴァドス県、アンドルエロワール県、メヌエロワール県、オルヌ県、およびピレネーアトランティック県で発生し、それぞれ単独発症であった。ほか2件はオルヌ県における3頭および4頭の発症であり、罹患馬はワクチン接種を受けていた。陽性診断は胎子もしくは胎盤組織を用いたPCR検査によって行われた。

ドイツ

ニーダーザクセン州、メクレンブルク・フォアポンメルン州、ノルトライン・ヴェストファーレン州、およびザクセン・アンハルト州におけるワクチン接種サラブレッド牝馬で、5件の単独流産が報告された。陽性診断はいずれもPCRであり、用いた検体は胎子組織2例、子宮内膜スワブおよび胎子組織吸引物1例、羊水1例、子宮頸管および胎子スワブ1例であった。

#日本

北海道日高地方のワクチン接種サラブレッド牝馬において8施設13件の流産が四半期後に報告された。3施設は単独発症であり5施設は2頭発症した。陽性診断はLAMPおよびPCRによって行われた。

オランダ

6件の流産が報告された。2件はフリースラント州およびオーファーアイセル州でそれぞれ単独発症であった。ノールトブラバント州およびフリースラント州においてはそれぞれ

れ2頭の発症であった。さらにフリースラント州およびノールブラバント州において単独発症があった。陽性診断はPCRによって行われた。

スウェーデン

ハッランド県、スコーネ県およびヴィストラ・イエータランド県において単独流産が4件報告された。陽性診断はPCRにより行われた。

イギリス

流産が2件報告された。それぞれチェシャー州、ウエストサセックス州における単独発症であった。陽性診断は胎子組織を用いたPCR検査にて行われた。

馬ヘルペスウイルス4型 (EHV-4) による流産

#日本

北海道釧路の1施設においてワクチン未接種牝馬1頭の流産が発生し、四半期終了後に報告された。陽性診断はPCR検査にて行われた。

イギリス

ウエストヨークシャー州の1施設において流産が1頭報告された。流産は妊娠最終月に起こった。陽性診断は胎子組織を用いたPCR検査にて行われた。

Salmonella Abortusequi

#日本

熊本県において重種馬における流産が1例報告された。陽性診断は菌分離と血清診断にて行われた。

S.zooepidemicus による流産

ベルギー

エノー州で流産が1頭報告された。陽性診断は胎子組織を用いたPCR検査にて行われた。

フランス

ピュイドコム県において12歳アパルーサ牝馬の流産が1頭報告された。陽性診断は胎子組織を用いたPCR検査にて行われた。

呼吸器疾患

発生国	EHV	EHV-1	EHV-4	EI	その他	ロドコ ツカス	腺疫
アルゼンチン	-	-	#1	-	-	-	-
カナダ	-	-	-	1	-	-	8
フランス	-	3	9	-	-	2	#17
ドイツ	-	5	-	-	-	-	1
オランダ	-	6	16	-	-	1	29
スウェーデン	-	5	-	-	-	-	4
スイス	-	-	2	-	-	-	1
イギリス	-	1	4	1	-	-	-
アメリカ	1	2	1	-	1	-	40

#四半期後に報告があった追加情報

馬ヘルペスウイルス呼吸器感染症

アメリカ

EHV（型別不明）呼吸器疾患がサウスカリフォルニア州で1頭報告された。ワクチン接種された6歳口バで、臨床症状は発熱、沈鬱であった。陽性診断は鼻腔スワブによって行われた。

馬ヘルペスウイルス1型（EHV-1）による呼吸器感染症

フランス

3件が報告された。2例はアルプマリティム県とマンシュ県における単独発症であり、もう1件はアルプマリティム県における4頭の発症であった。臨床症状は発咳、リンパ節炎、鼻漏、発熱であった。陽性診断は鼻咽頭スワブによるPCRで行われた。

ドイツ

ノルトラインヴェストファーレン州において5件報告された。3件は単独発症で1件は2頭、もう1件は3頭の発生であった。陽性診断は鼻腔もしくは鼻咽頭スワブによるPCR検査で行った。

オランダ

6件が報告された。ヘルデルラント州、ノールトホラント州、オーファーアイセル州、ユトレヒト州でいずれも単独発症であった。PCRで陽性を確認した。

スウェーデン

5件の発生が報告された。うち4件はスコーネ県、ストックホルム県で単独発症であり、1件はストックホルム県で複数頭の発生を認めた。陽性診断はほとんどの例で鼻腔スワブを用いたPCR検査にて確認された。

イギリス

1 件の発生が報告された。ハートフォードシャーにおけるワクチン接種された 4 歳サラブレッド牝馬であった。陽性診断は鼻咽頭スワブによる PCR で行われた。

アメリカ

2 件の発生が報告された。1 件はロードアイランド州におけるロバの単独発症であり、もう 1 件はオレゴン州の 1 施設における 2 頭であった。臨床症状は発咳、下痢、沈鬱、鼻漏および発熱が認められた。

馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による呼吸器感染

#アルゼンチン

四半期後に 1 件報告された。サラブレッド生産牧場 1 施設において 4-6 カ月齢の当歳馬 20 頭が発症した。陽性診断は PCR 検査とウイルス分離によって確認された。

フランス

9 件が報告された。6 件はカルヴァドス県、オートガロンヌ県、サルト県における施設でそれぞれ単独発症であった。サルト県の症例は EHV-2 および EHV-5 との混合感染であった。コートダモール県、オルヌ県の 2 件はそれぞれ 2 頭ずつ発症し、カルヴァドス県の 1 件は 4 頭が発症した。臨床症状は発咳、鼻漏および発熱であった。陽性診断は鼻腔および鼻咽頭スワブによる PCR 検査で行われた。

オランダ

ドレンテ州、フリースラント州、ヘルデルラント州、リンブルグ州、ノールトブラバント州、オーファーアイセル州、ゾイトホラント州およびユトレヒト州において 16 件が報告され、いずれも単独感染であった。陽性は PCR 検査によって確認された。

スイス

チューリッヒ州の 2 施設においてそれぞれ単独感染が報告された。臨床症状は発熱であった。陽性は PCR 検査によって確認された。

イギリス

4 件が報告された。それぞれベッドフォードシャー州、ハートフォードシャー州、ノーサークシャー州およびサフォーク州におけるワクチン未接種馬であった。臨床症状は食欲不振、沈鬱、リンパ節炎、鼻漏であった。陽性診断は鼻腔および鼻咽頭スワブによる PCR 検査で確認され、1 例は血清診断によって確認された。

アメリカ

ロードアイランド州において 1 件報告された。臨床症状は発熱と中程度の呼吸器症状であった。

馬インフルエンザ (EI)

カナダ

オンタリオ州の 17 歳クォーターホース・セン馬における 1 件の発生が報告された。臨床症状は発咳、鼻漏および発熱であった。鼻腔スワブを用いた PCR で陽性を確認した。

イギリス

ワクチン未接種のサラブレッド 1 頭の発生が報告された。同馬は直近に他のワクチン接種馬 1 頭とともにデンマークからノースヨークシャー州に輸送された。両馬は鼻漏を呈していた。ワクチン未接種馬からのみ鼻咽頭スワブを採取し、PCR で陽性を確認した。

その他 (Other)

アメリカ

テキサス州の 1 施設の 2 頭において呼吸器疾患を発症した 1 件報告された。臨床症状は発熱、沈鬱、鼻漏、発咳、嚥下障害であった。1 頭はウマ鼻炎 B ウイルス陽性であったが、*Streptococcus equi* は陰性であった。

ロドコッカス・エクイ

フランス

ロワールアトランティック県の異なる施設で 2 件の単独発症が報告された。気管洗浄液により陽性が診断された。

ベルギー

ノールトブラバント州における 1 施設で 1 頭が報告された。PCR 検査により陽性が診断された。

腺疫

カナダ

8 件が報告された。7 件はオンタリオ州の異なる施設における単独発症であり、1 件はオンタリオ州における 2 頭の発生であった。臨床症状は、膿瘍形成、発咳、リンパ節腫大、鼻漏および発熱であった。

フランス

17 件の発生が報告された。15 件はアイン県、カルヴァドス県、コレーズ県、ドゥー県、オートガロンヌ県、オートサボア県、ロワール・アトランティック県、イゼール県、マンシュ県、モゼル県、パドカレー県、オルヌ県およびビエンヌ県で発生した単独発症であった。1 件はコレーズ県において 2 例の発生を認めた。臨床症状は食欲不振、発咳、リンパ節炎、鼻漏、発熱および虚弱であった。鼻咽頭スワブ、喉嚢洗浄液もしくは排膿液を用いた PCR で陽性を確認した。

ドイツ

ヘッセン州において 20 歳牝馬 1 件の発生が報告された。膿瘍から採取したスワブによる PCR 検査および細菌培養により陽性を診断した。

オランダ

ドレンテ州、フリースラント州、ヘルデルラント州、リンブルグ州、ノールトブラバント州、ノールトホラント州、オーファーアイセル州、ローゼンダール州、ティルブルフ州およびユトレヒト州において 29 件の発生が報告された。PCR で陽性を確認した。

スウェーデン

4 件が報告された。1 件はヴィストラ・イエータランド県の 1 施設において直近にデンマークから輸入されたポニー 1 頭であった。3 件はハッランド県、カルマル県、スコーネ県において複数頭発症した。臨床症状は発熱と鼻漏であった。

スイス

ルツェルン州において 1 件の発生が報告された。臨床症状は下顎および耳下腺リンパ節の膿瘍形成であった。微生物学的検査によって陽性と診断された（検査方法は明記されていない）。

アメリカ

40 件が報告された。34 件はカリフォルニア州、フロリダ州、メリーランド州、ミシガン州、オハイオ州、ロードアイランド州、ユタ州、バージニア州、ワシントン州およびウィスコンシン州においてそれぞれ単独発症であった。2 件はフロリダ州とメリーランド州においてそれぞれ 2 頭、1 件はウィスコンシン州において 3 頭、2 件はワシントン州およびウィスコンシン州において 4 頭、1 件はミシガン州において 5 頭の複数発生であった。臨床症状としては、発咳、下顎リンパ節の膿瘍形成、リンパ節腫大、食欲不振、沈鬱、鼻漏および発熱であった。

消化器疾患

発生国	馬コロナウイルス	ロドコッカス	ロタウイルス	サルモネラ症
アルゼンチン	-	-	#1	-
カナダ	-	-	-	1
フランス	-	2	1	-
オランダ	12	-	-	6
スイス	2	-	-	1
アメリカ	1	-	-	-

#四半期後に報告があった追加情報

コロナウイルス

オランダ

12 件が報告された。11 件はヘルデルラント州、ノールトブラバント州、オーファーアイセル州、ゾイトホラント州、ユトレヒト州における単独発症であった。1 件はユトレヒト州の 1 施設における 4 頭の発生であった。検査は PCR 検査によって行われた。

スイス

ベルン州の施設において 2 件報告された。臨床症状は下痢と発熱であった。診断は PCR 検査によって行われた。

アメリカ

フロリダ州サラソータ郡の 1 施設において 1 件が報告された。臨床症状は発熱、食欲不振および下痢であった。

ロドコッカス

フランス

オルヌ県の異なる施設で 2 件報告された。糞便を用いた培養によって陽性を確認した。

ロタウイルス

フランス

オルヌ県の 1 施設で 1 件報告された。直腸スワブによる PCR 検査で陽性を確認した。

#アルゼンチン

サラブレッド生産牧場 1 施設において 5-10 日齢の当歳馬 2 頭が感染した 1 件が四半期後に報告された。臨床症状は下痢であった。陽性は PCR とウイルス分離によって診断された。

サルモネラ症

カナダ

ケベック州の 1 施設において 1 頭報告された。臨床症状は疝痛、下痢、発熱であった。

オランダ

ヘルデルラント州、リンブルグ州、ノールトブラバント州、オーファーアイセル州、ユトレヒト州において 6 件の単独発症が報告された。診断は PCR 検査によって行われた。

スイス

ヌーシャテル州において *Clostridium* spp.との混合感染が 1 頭報告された。臨床症状は食欲不振と発熱であった。診断は病原細菌の同定によって行われた。

神経疾患

発生国	EEE	EEV	EHV-1	Halicephalobus 症	破傷風	WNV
ベルギー	-	-	1	-	-	-
カナダ	-	-	4	1	-	-
フランス	-	-	2	-	-	-
オランダ	-	-	1	-	-	-
南アフリカ	-	#19	-	-	-	-
スウェーデン	-	-	1	-	-	-
アメリカ	1	-	23	-	2	1

#四半期後に報告があった追加情報

東部馬脳炎 (EEE)

アメリカ

直近に海外からフロリダ州に輸入されたワクチン未接種馬における 1 頭が報告された。

ウマ脳症ウイルス (EEV)

#南アフリカ

ウマ脳症ウイルスは南アフリカに常在しており、以下の症例が報告された。

東ケープ州 (5 頭)、ハウテン州 (11 頭)、クワズールナタール州 (1 頭)、西ケープ州 (2 頭)。

馬ヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1) による神経疾患

ベルギー

リンブルフ州において 1 例が報告された。臨床症状は運動失調、膀胱麻痺、尾の麻痺を認めた。鼻腔スワブを用いた PCR 検査で陽性を確認した。

カナダ

オンタリオ州とケベック州において 4 件の単独発症が報告された。臨床症状は精神状態変化、運動失調、膀胱麻痺、脳神経障害、起立困難、後躯のふらつき、斜頸、沈鬱および発熱であった。2 件は鼻腔スワブ、1 件は PCR 検査 (検査材料不明) によって診断された。

フランス

2 件報告された。1 件はマンシュ県のワクチン接種馬で 1 件は同じくマンシュ県のワクチン接種馬 2 頭であった。臨床症状は運動失調、疲労困憊、不全麻痺および横臥を示した。鼻咽頭スワブを用いた PCR で陽性を確認した。

オランダ

ユトレヒト州の 1 施設におけるワクチン未接種 2 頭が発症した 1 件が報告された。臨床症状は食欲不振、膀胱拡張および麻痺であった。診断は PCR 検査によって行われた。

スウェーデン

スコーネ県の1施設において1件報告された。臨床症状は鼻漏、発熱、神経症状であった。陽性診断は鼻腔スワブによるPCR検査によって確かめられた。

アメリカ

23件の発生が報告された。18件はインディアナ州、ミシガン州、ノースダコタ州、ニューヨーク州、オハイオ州、ペンシルバニア州、バージニア州、ワシントン州、ウィスコンシン州における単独発症を認めた。2件はインディアナ州とウィスコンシン州における2頭の発生であり、テネシー州とテキサス州では3頭の発生であった。インディアナ州の1件はエルクハート郡、コジアスコ郡、ラグランジュ群において6頭が発症した。臨床症状は流産、運動失調、失明、旋回、斜頸、食欲不振、失禁、体幹の傾き、沈鬱、鼻漏、浮腫、発熱、横臥、発作、つまづき、虚弱であった。

Halicephalobus 症

カナダ

直近にアイスランドからケベック州に輸入にされた去勢ポニーにおいて1頭報告された。診断は組織学的な検査を含む病理解剖によって確定した。

狂犬病

アメリカ

テネシー州とジョージア州においてそれぞれ単独発症が報告された。臨床症状は嚥下障害、食欲不振、中程度の黄疸、筋肉の震え、重度蹄葉炎および歯肉の点状出血を伴う中毒性粘膜色を呈した。

ウエストナイルウイルス (WNV)

アメリカ

サウスカリフォルニア州においてワクチン未接種馬1頭が報告された。罹患馬は安楽死となった。

筋骨格筋疾患

発生国	AHS	EIA	EGS	鼻疽	ピロプラズマ症	VS
ベルギー	-	1	-	-	-	-
カナダ	-	2	-	-	-	-
ドイツ	-	1	-	-	-	-
ハンガリー	-	1	-	-	-	-
イラク	-	-	-	1	-	-
アイルランド	-	-	-	-	1	-
オランダ	-	-	-	-	3	-
南アフリカ	#38	-	-	-	#81	-
イギリス	-	-	1	-	-	-
アメリカ	-	3	-	-	-	1

#四半期後に報告があった追加情報

アフリカ馬疫 (AHS)

#南アフリカ

アフリカ馬疫 (AHS) は、西ケープ州の AHS 管理地域を除き、南アフリカで流行している。流行は 6 つの州で発生し、報告された。AHS 管理地域を含む西ケープ州では発生しなかった。その他の州では、以下のように症例が報告されている。東ケープ州 (13 頭)、フリーステート州 (1 頭)、ハウテン州 (10 頭)、クワズールナタール州 (7 頭)、ムブマランガ州 (4 頭)、北西州 (3 頭)。

馬伝染性貧血 (EIA)

ベルギー

アントウェルペン州で 1 件報告された。罹患馬は死亡し、感染源は違法な動物輸送の結果であると報告された。

カナダ

ブリティッシュコロンビア州およびケベック州でそれぞれ 1 件の単独発症が報告された。

ドイツ

バイエルン州において 1 頭報告された。罹患馬はその施設内に移動されて以降、隔離されていた。陽性診断はゲル内沈降反応 (Coggins Test) によって確かめられた。

ハンガリー

トゥールケヴェエにおいて 1 頭報告された。ELISA により陽性を確認した。

アメリカ

3 件の発生が報告された。2 件はコネチカット州、テキサス州における単独発症であった。1 件はカリフォルニア州の 1 施設における 2 頭であった。

馬のグラスシックネス (EGS)

イギリス

ノースヨークシャー州の 1 施設において、1 頭のサラブレッド 1 歳牡馬の報告があった。陽性は回腸のバイオプシーによって診断された。

鼻疽

イラク

バグダットの 1 施設において 2 頭発症した 1 件が報告された。陽性が CFT（補体結合反応）によって診断された。

馬ピロプラズマ症

アイルランド

直近にヨーロッパからコーク県に輸入された牝馬 1 頭において報告された。臨床症状は発熱、黄疸、異常排尿であった。陽性診断は PCR と ELISA によって行われた。

オランダ

フレボランド州、ノールトブラバント州、ユトレヒト州においてそれぞれ単独発症が報告された。陽性診断は PCR によって行われた。

#南アフリカ

ピロプラズマ症は南アフリカの風土病であり、四半期後に以下の通りすべての州から症例が報告された。*B. caballi* の症例は以下のように報告されている。

ハウテン州（4 例）、クワズールナタール州（1 例）、北ケープ州（1 例）、北西州（1 例）

T. equi の症例は以下のように報告されている。

東ケープ州（2 例）、フリーステイト州（4 例）、ハウテン州（37 例）、クワズールナタール州（3 例）、ムプマランガ州（5 例）、北ケープ州（6 例）、北西州（1 例）、西ケープ州（15 例）、リンポポ州（1 例）。

水疱性口内炎 (VS)

アメリカ

2024 年第 1 四半期間において、2023 年 5 月から始まった流行はカリフォルニア州、ネバダ州、テキサス州の 3 州において 319 の汚染施設で VSV 感染が確認されている（99 施設が確定であり、220 施設は疑い）。その内訳はカリフォルニア州が 316 施設（うち確定が 19 施設）、テキサス州が 2 施設、ネバダ州が 1 施設であった。これらのうち 309 施設はウマ科動物のみ臨床症状を呈した。ネバダ州とテキサス州におけるすべての汚染施設は 2023 年 8 月に検疫から開放された。カリフォルニア州の 2 施設は 2024 年 1 月時点でいまだ検疫下にある。